国際交流シリーズ（9）

期するところは子供達の幸せ

将来、国際社会に巣立つ子供達の先頭に立って英語教育を実践し、教壇に立つ市内三中学校の校長先生及び英語担当教員の皆さんから意見を伺う機会がありました。8回目の生徒の声に続いて今回は、教育現場の感想を述べていただきました。

出席者

横山教育長

都留第一中学校

田中校長・上野・斉藤先生

都留第二中学校

伊藤校長・広島・鈴木・谷内・丹沢先生

東桂中学校

小木校長・大柴先生

・ここに子供達の感想があるんですが、それを見ますと、英語の授業が楽しくなってきたという以外に、アメリカのことを知りたい、例えばアメリカの中学校では日本語の勉強をしているか、また、どんな授業をしているのかと、子供なりの素朴な疑問が多いです。単に英語の教育だけじゃなく、国際理解や国際親善ということにジェイムズ先生による英語指導の効果が大きいと思います。子供達の関心はかなり高いですね。

・生徒の方からもっと彼の授業を受けたいという希望もあるんですが、ただ三年生の場合には、希望があったにしろ進路のことなどから、もう無理かとも思いますね。

・この4ヶ月の間に本人の都合で授業ができなかったということは、風邪を引いた時の一回ぐらいです。後は、学校の行事と重なった時ぐらいで、授業回数が少ないということは、仕方がないことでしょう。

・ジェイムズ先生は、積極性があり、明朗で東部育ちということもあり、話す英語もアメリカ南部特有のクセがなく、聞きやすい英語ですから、子供達にも理解できやすいと思います。

・発音については、非常に聞きやすく、分かるように話をしてくれますね。

・日本語については全く問題ありませんね。漢字も相当書けるということが、生徒にとってもうまく行っています。もし、日本語を全く理解しない状況であれば、たいへん違った結果になると思います。今の時点では、かなり効果がでています。人間的にも素晴らしい先生です。

・9月から授業に会話形式を取り入れてきたわけですが、今までのペースですと、特に通常の授業や進路にも影響はないと思います。特に英語の書きとりや発音などについては、彼でないとできない場面もあり、とにかく有効に指導してもらっています。

・私は何らかの理由で授業ができなかった場合、土曜日にでも都合をつけてもらえるようお願いできたらと思っているんですが、いかがでしょうか。

・その点については、校長先生の判断で、ジェイムズ先生と話し合い、アレンジしてみたらいかがでしょうか。いいと思いますよ。

・クラブ活動も、東中では卓球や百人一首などやっていますが、二週間の範囲ということで、継続的にはできない面がありますね。

・自分の発想で、今日はこの部へ行って見たいとか、あれをやりたいとかあると思いますので、受け皿の方をしっかり面倒見てやれば逆に固定しない方がいいんじゃないでしょうか。先生にとっても、その方が大勢の子供達に接することができるでしょう。

・子供達が英語の授業を離れて接することができ、そこでいろんな話をすることに、とても効果があるんじゃないでしょうか。逆に暇な先生には、英会話の特訓をさせてください。（笑）

・東中では、昨年結婚した先生がいて、放課後一緒に歌の練習をしたり、英語の歌を教えてもらったりしましたが、皆んな発音が悪くて遂にダメでしたね。（笑）　そんな所も親しみの持てる所ですね。

・一中の場合は、ちょうど学園祭の時に来ていましたので、ジェイムズ先生がギターを演奏しソロで歌ってくれました。なかなか評判が良かったですね。

・二中では裸踊りもしました。学園祭でインディアンの踊りも披露してくれました。（笑）それから、三年の授業でビートルズの歌を使ったことがあるんですが、その曲をジェイムズ先生が学園祭で歌い盛り上がりましたね。

・先月、ＹＬＯ会館で市民の初級英会話教室を開きましたが、たいへん盛況でした。市職員二十数名は遠慮してもらった程です。本来は市内三中学校で英語教育をすることが前提ですので、肝心なところをおろそかにしない方向で進めていきたいと思います。

・法律的には、アシスタントということで、単独で授業をすることはできないようですが、校長先生や教頭先生に同席してもらい、空き時間にアメリカの話などを特別にお願いすることはできるでしょうか。

・空いた時間についてですが、東桂中の場合には、一人で授業を持ってもらったこともありました。出張などで、どうしてもチームティーチングができない場合もあります。その時には子供達とゲームしてもらったりしているんですが、子供にとっては先生が居ないということで、もっと伸び伸び接しているようです。ただ、一時間一人で完全に教えるということはまだ無理のようです。

・ジェイムズ先生は、その指導性や子供達に対する国際感覚において素晴らしい条件を持った人です。また、そのような教育も行えます。各学校の先生方も、そのような評価をしていると思います。子供達もたいへん好意的な反応を示しておりますし、期するところは、子供達の幸せということになります。その点では、たいへん効果が上がっているということに、異論はないと思います。敢えてマイナスの面はということについての要望もありましたが、現在のところ見当らず、継続して本市の中学生のために活躍して英語教育がより一層充実するように望んでおります。